

# なか つ の 中津野遺跡

- 1 所在地 南さつま市金峰町中津野
- 2 起因事業 国道 270 号 (宮崎バイパス) 改築工事
- 3 調査年度 平成 18 ~ 21 年度
- 4 主な時代 旧石器時代~中世
- 5 遺跡の概要

中津野遺跡は、薩摩半島南西部に流れる万之瀬川<sup>まのせ</sup>とその支流に挟まれた地形<sup>はさ</sup>の南側に位置します。国道 270 号宮崎バイパス建設に伴い、標高約 25m のシラス台地から河川の氾濫<sup>はんらん</sup>でできた河岸段丘、標高約 6m の低地までを一つの遺跡 (約 30,600 m<sup>2</sup>) として、平成 18 年度から 4 次の発掘調査を行っています。

これまでの調査で、旧石器時代から中世に至るまでの幅広い時代の遺構・遺物<sup>いこう いぶつ</sup>が出土しており平成 24 年度は、これまでに出土した遺構・遺物の整理作業を行いました。

## 6 注目される成果

中津野遺跡の発掘調査は完了していませんが、これまでの発掘調査で、多くの遺物とともに弥生時代の竪穴住居跡や中世のムラ、多量の木材を敷き詰めた時代不詳の道路跡と考えられる遺構を検出しています。

低地部分では木材を敷き詰めた遺構とともに木製の農具や生活用具なども出土しました。現在、時代を調べるために科学的な分析を進めています。



弥生時代の竪穴住居跡



木製農具

